

## 【一中】心づかいは見える

昨年の10月だったと思いますが、下記のはなまる連絡を流しました。今年4月から、私が出張等で門扉の前で車を止めたとき、下記と同じような心づかいをしてくれた（しようとしてくれた）生徒（別々の生徒）に3回出会いました。心づかいが出来る生徒が増えていることを実感しています。本当はしてもらったそのたびに、はなまる連絡で紹介すべきだったのですがすみません。多分、私以外の人にもしてくれているのではないかと…。

-----（以下は昨年のはなまる連絡）-----

今日、学校に来られたお客様が帰られるときのことです。一中では、防犯のために門扉を閉めています。お客様が帰られる際、門扉を閉めるために車から降りようとしたところ、体育の授業の準備でグラウンドを走っていた2年生の男子生徒が「（門扉を）閉めるからいいですよ。そのまま行かれてください。」と言って門扉を閉めてくれたそうです。感激したお客様が「ちょっとしたことだけど、その心づかいがうれしかった。」とすぐに電話してくださいました。「ありがとうございますと生徒さんに伝えてください。そして、生徒さんを是非ほめてください。」ともおっしゃっていました。一中生の良いところを体現して示してくれた生徒に、私からも「ありがとう」と伝えたいです。

小さな出来事ですが、私は、東日本大震災の後ACジャパンのテレビCMで流れていた「『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。」という言葉思い出しました。水害にあわれた人のために何かできないかと、募金活動を計画してくれた生徒会本部役員。その計画に賛同しボランティア活動をした生徒。お小遣いを貯めた貯金箱ごと募金してくれた生徒。「自分に出来ることを何かしよう」という生徒の思いがカタチになった今年度の出来事だったと思います。

そして、心づかいをカタチにしてくれた今日の生徒の行為は、ちゃんと人に伝わり、お客様にその心づかいが見えたのだと思います。「気づき 考え 行動する」ことの大切さを何度も生徒に伝えていますが、それを実行している生徒の存在が、私たち教職員の喜びであり一中の財産です私も、生徒に負けずに「一中 大好き」を実現するために「気づき 考え 行動する」ことを頑張りたいと思いを新たにしました。生徒には、埼玉県出身の詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩を放送で紹介しました。この詩の抜粋が、ACジャパンのテレビCMのもとになったと言われています。

「行為の意味」 宮澤章二

あなたの心はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない  
自分にも 他人にも心は見えない けれどほんとうに見えないのであろうか  
確かに心はだれにも見えないけれど 心づかいは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから  
同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ